

## 恵那の農業・農村を支える人材育成

### ■クリ 「第2回栗新規栽培チャレンジ塾」の開催を支援

東美濃栗振興協議会では、新規栽培者等への実践的な技術取得や先輩農家との交流による仲間づくりを支援するために「栗新規栽培チャレンジ塾」を年6回開催している。7/5(土)にその第2回が、協議会員向け研修である「東美濃栗振興協議会夏季剪定講習会」と合同で開催され、塾生23名・協議会員45名が参加した。

岐阜県独自の剪定方法である超低樹高栽培では、夏に翌年の結果母枝候補の充実と防除効果を高めることを目的に、余分な枝を取る夏季剪定を行う。今回、農林事務所は、夏季剪定の目的や、夏季の栽培管理について説明し、管内クリ園での害虫発生状況や着穂状況等の



【剪定士の説明を聞く受講者】

情報提供を行った。その後、3班に分かれて、東美濃栗振興協議会が認定した名人剪定士らが剪定を実演し、それをもとに参加者が演習をした。

今回のチャレンジ塾では、新規栽培者や栽培希望者が夏季剪定の技術習得ができただけでなく、既存生産者との交流を深められた会となった。

恵那農林事務所は、クリの栽培技術支援を通じて、東美濃栗振興協議会の産地出荷量の維持拡大に向けた取り組みを支援する。

(園芸産地支援第二係)